株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当を行う場合　毎年9月30日 （その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。）
公告方法	電子公告の方法により行います。 ホームページアドレス　http://www.honyakuctr.com ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120-78-2031（フリーダイヤル） 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ スタンダード
証券コード	2483

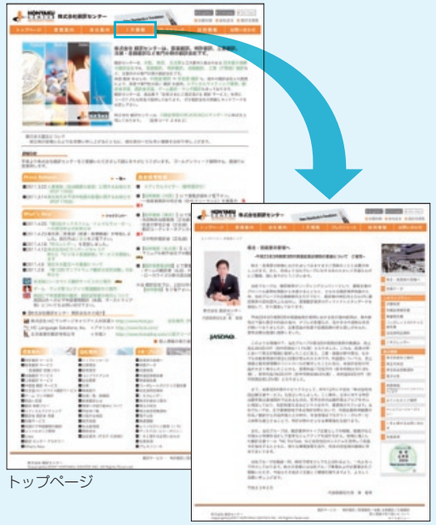
・住所変更等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

見通しに関する注意事項

この報告書には、翻訳センターグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で入手可能な情報から判断した見込みであります。世界経済の動向、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を際限なく含んでおり、実際の業績や結果は当社の見込みと異なる可能性があることをご承知おきください。

ホームページのご案内



トップページ

IR情報ページ

当社ホームページにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。

詳しくは ▶▶▶ 翻訳センター 検索

http://www.honyakuctr.com

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

株式会社 翻訳センター

お問合せ先　本社

〒541-0046
大阪市中央区平野町2丁目5番8号
平野町センチュリービル9F
Tel : 06-6204-1640
e-mail : info@honyakuctr.co.jp

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

第25期 期末のご報告

2010年4月1日 ～ 2011年3月31日

株式会社 翻訳センター

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループに対する温かいご支援ならびにご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます。

また、このたびの東日本大震災において被災された多くの方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当社グループは、翻訳業界のリーディングカンパニーとして、顧客企業のグローバル展開を側面から支援するとともに、さらなる翻訳業界発展のため、当社グループの企業価値向上だけでなく、翻訳者の地位向上ならびに翻訳業界の認知度向上も志向し、産業翻訳業界のデファクトスタンダードを目指して、日々邁進しております。

それでは、ここに当社グループの第25期の事業概要と決算をご報告させていただきます。

2011年6月

代表取締役社長　東 郁男

翻訳需要は景気後退前の水準に回復、当社グループも増収増益を達成いたしました

◆ 売上高においては、工業分野、特に、自動車（完成車・部品）メーカーからの受注回復が寄与しました。

◆ 利益面においては、販売管理費のコントロールが奏功したことに加え、米国子会社をはじめとする連結子会社の収益向上が寄与しました。

特許分野

◆ 上期は出願元企業の知的財産関連予算への抑制が続き厳しい状況に

◆ 下期に入り、一部の特許事務所と企業の知的財産関連部署からの受注が回復

主な翻訳対象

◆ 特許明細書
◆ 優先権証明書
◆ 特許庁手続書類
◆ 特許公報　など

医薬分野

◆ 一年を通して医療機器関連企業からの受注が増加

◆ メガファーマからの受注が堅調に推移

主な翻訳対象

◆ プロトコール・スタディレポート
◆ PMS関連資料
◆ 医薬学術論文
◆ 医療機器の取扱説明書　など

工業分野

◆ 関東・中京圏を中心とした自動車完成車・部品メーカーの受注が景気後退以前の水準に回復

◆ 電気機器および通信関連企業からの受注も大幅に増加

主な翻訳対象

◆ 取扱説明書　◆ 規格書
◆ 仕様書　◆ 研究論文
◆ 契約書
など

金融分野

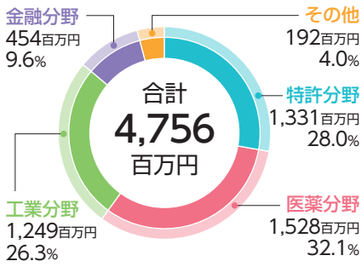
◆ ディスクロージャー関連、特に株主総会関連資料の受注が増加

◆ 一年を通して一部金融機関やリサーチ会社からの受注も増加

主な翻訳対象

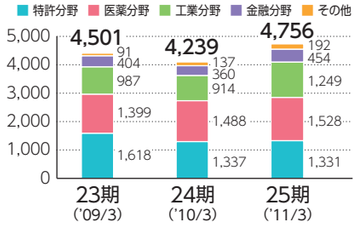
◆ 銀行・証券・保険関連資料
◆ 財務・会計関連資料
◆ ディスクロージャー関連資料
◆ 各種契約書　◆ 法務文書　など

売上高構成比

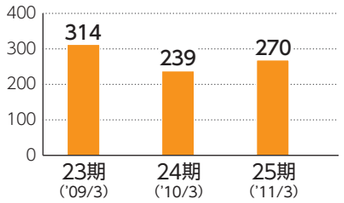


財務ハイライト

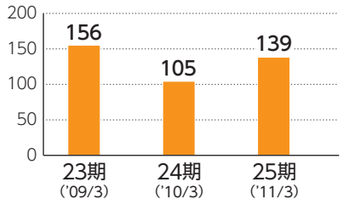
連結売上高　（単位：百万円）



連結経常利益　（単位：百万円）



連結当期純利益　（単位：百万円）



顧客や市場の求めるニーズをきめ細やかに把握し、顧客の企業価値向上に貢献してまいります

Q. 当期の事業環境と取り組み、および、成果についてお聞かせください。

A. 当期における日本経済は、米国に端を発した金融不安の影響が薄まり、企業の研究開発や設備投資への意欲も持ち直し、景気は緩やかな回復傾向にありました。
翻訳業界におきましては、上期には、景気の先行き懸念に起因する顧客企業の発注停滞も見受けられましたが、下期に入り、企業業績の改善による研究開発や設備投資関連予算の抑制緩和が鮮明となり、翻訳需要は景気後退前の水準に回復したと認識しております。
この1年間、当社グループでは、従来の成長スピードへ戻すため、(1) 持続的な利益成長を可能とするコスト構造の構築、(2) 翻訳支援ツール「HC TraTool」などの新たなシステム導入による効率化の促進、(3) さらなる成長に向けた事業展開と高付加価値化への取り組みを強化してまいりました。その結果、当社グループは前期を上回る業績を達成することができました。なかでも、米国子会社をはじめとするグループ会社の収益向上の寄与と、販売管理費のコントロールが奏功した結果ととらえております。

Q. 資本・業務提携や子会社設立の動きについてお聞かせください。

A. 当期は7月にエムスリー株式会社ならびに株式会社ウィザスへの第三者割当増資を実施いたしました。その調達資金を活用し、向こう2年間で3つの事業展開を予定しております。その中の一環として、2010年12月に株式会社外国出願支援サービス（略称：FIPAS）を設立、翌年1月から営業を開始いたしました。FIPASは、翻訳センターの多くの既存顧客からの「外国出願用明細書の翻訳だけでなく、外国出願業務まで一括で依頼できたらいいのに」というご要望を具現化した会社です。翻訳センターで培った長年の特許翻訳経験をもとに、企業の知的財産権の保護をサポートし、外国出願の大幅なコストダウン実現のためのサービス展開を積極的に図ってまいります。またこの先も、顧客や市場の求めるニーズと収益性を考慮しながら、国内外問わず新たな事業展開を検討していく方針です。

Q. 「第一次中期経営計画」の進捗状況をお話しください。

A. 「第一次中期経営計画」では、(1)「翻訳プラットフォーム」の構築、(2) 人材の増強、(3) 高付加価値サービスと集中購買化提案の促進、(4) 米国子会社の黒字化、の四点を重点施策として掲げておりました。これらの成果として、翻訳支援ツール「HC TraTool」の開発ならびに運用開始と子会社3社を設立（北京東櫻花翻訳有限公司、株式会社HCランゲージキャリア、株式会社外国出願支援サービス）、米国子会社においては当期はグループ全体の収益向上に寄与するまでに成長いたしました。外部環境の変化により、目標数値の下方修正をせざるをえませんでしたが、施策面では一定の成果を残せた3年間だったと認識しております。

Q. 第26期（2012年3月期）の経営方針についてお聞かせください。

A. 当期末直前に発生した東日本大震災による未曾有の被害と電力不足の影響で、穏やかな回復傾向にあった景気の先行きは、一転して不透明感が増しております。
当社グループにおいても、地震発生当初は各方面よりご心配をいただきましたが、被災地域に居住されている登録者の方々においては無事を確認できており、また、当期業績への影響もございませんでした。しかし、4月に入り、一部の顧客から発注時期延期を打診される一方で新たな翻訳ニーズも生じており、この先の顧客動向を見定めることが困難な状況にあります。
このような環境ではございますが、当社グループは従来の成長スピードへ戻すために業務拡大に向けて社内基盤を整備し、営業力をさらに強化するとともに、品質を確保できる制作体制を強化し、収益拡大に尽力してまいります。

Q. 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A. 震災の影響による翻訳需要の限定的な落ち込みへの懸念はございますが、日本企業のグローバル展開や外国企業による日本市場への参入は、各企業にとって重要な戦略であることに変わりはなく、産業技術翻訳業界の環境は中・長期的には底堅く推移していくものと認識しております。当社グループは、顧客や市場の求めるニーズをきめ細やかに把握し、顧客のご要望に応じた翻訳・通訳等のサービスを提供することにより、顧客の企業価値や競争力向上に貢献し、業績のさらなる向上を目指してまいります。
株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループ事業および企業理念をご理解いただき、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

グループシナジーを活かして、お客様のニーズに対応しております。

株式会社HCランゲージキャリア（HCLC）
（日本・東京）

人材派遣・紹介予定派遣・語学研修サービス

事業内容

- 一般的な外国語事務からより高度な翻訳・通訳業務専門の人材まで、外国語に秀でた人材を提供
- グループのネットワークを活かし、突発的な人員補充にも対応

株式会社翻訳センター
（日本・大阪、東京、名古屋）

特許・医薬・工業・金融に特化した翻訳サービス

事業内容

- 翻訳業界のリーディングカンパニーとして「株式会社翻訳センター」を核に、グループ企業と相互に連携し、顧客企業のグローバル展開を側面から支援しています。

株式会社外国出願支援サービス（FIPAS）（日本・東京）

諸外国への特許出願支援サービス

事業内容

- 各国言語での外国出願用明細書を作成
- 提携特許事務所、顧問弁理士、経験豊富な社内技術者による適切なアドバイス
- 海外出願の大幅なコストダウンを実現し、企業の知的財産権の保護をサポート

株式会社国際事務センター（IDC）
（日本・東京）

翻訳・通訳・テープ起こし、医学論文海外学術誌投稿サービス

事業内容

- 費用対効果に優れた高品質・高付加価値な翻訳サービスを提供
- 英文校閲、医学論文海外学術誌投稿、テープ起こし、ナレーション吹き込みなどのサービスを提供
- シンプル翻訳、スピード翻訳など予算と納期に応じたサービスメニューを展開

HC Language Solutions, Inc.
（アメリカ・サンフランシスコ）

米国における翻訳・通訳サービス

事業内容

- サンフランシスコを拠点に満足度の高いサービスを提供
- 日本との時差を利用して、短納期にも対応
- グループ内でいち早くエンターテインメント翻訳分野に参入

北京東櫻花翻訳有限公司（HC Beijing, Inc.）
（中国・北京）

中国における翻訳・通訳サービス

事業内容

- 日本語と中国語が堪能なスタッフで構成し、中日両国どちらからのご要望にも柔軟に対応
- 中国国内の優秀な翻訳リソースを活用し、対中ビジネスに求められる高品質な翻訳とリーズナブルな価格を提供

2010年度の翻訳センターの主なIR活動をご報告します。

2010

- 4月
- 5月
- 6月
- 7月
- 8月
- 9月
- 10月
- 11月
- 12月

2011

- 1月
- 2月
- 3月

2月28日
翻訳支援ツール「HC TraTool」が2010年度「関西IT百撰」優秀賞に選出

2月8日
第25期第3四半期決算発表

12月13日
㈳日本翻訳連盟主催「20周年記念 JTF翻訳祭」に参加

11月12日
第25期第2四半期決算発表

12月6日
㈳日本証券アナリスト協会主催「第17回一般個人向け会社説明会（東京）」に参加

7月6日
㈳日本証券アナリスト協会主催「第15回一般個人向け説明会（東京）」に参加

11月19日
第25期第2四半期決算説明会

9月17日
㈳日本証券アナリスト協会主催「第10回一般個人向け説明会（大阪）」に参加

8月11日
第25期第1四半期決算発表

6月29日
第24回定時株主総会開催

5月25日
第24期決算説明会開催

5月14日
第24期決算発表

※ 3月16日に予定しておりました㈳日本証券アナリスト協会主催「第13回一般個人向け説明会（大阪）」は、東日本大震災の影響を受けて参加を中止いたしました。参加を予定されていました皆様には、ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。
※ 当社グループでは、東日本大震災により被災された多くの方々の救済や被災地域の復興支援に役立てていただくため、グループ役職員ならびにグループご登録者からの募金実施に加え、企業として義援金を拠出させていただいております。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2011.3.31現在	前　期 2010.3.31現在
資産の部		
流動資産	2,708,638	1,940,969
固定資産	411,222	425,604
有形固定資産	30,685	47,334
無形固定資産	147,632	174,667
投資その他の資産	232,904	203,602
資産の部合計	3,119,860	2,366,574

科　目	当　期 2011.3.31現在	前　期 2010.3.31現在
負債の部		
流動負債	858,214	582,110
固定負債	140,954	127,025
負債の部合計	999,169	709,135
純資産の部		
1 株主資本	2,127,012	1,662,420
資本金	588,443	399,818
資本剰余金	478,823	290,198
利益剰余金	1,059,746	972,404
その他の包括利益累計額	△ 6,321	△ 4,982
その他有価証券評価差額金	△ 1,017	△ 1,783
為替換算調整勘定	△ 5,304	△ 3,198
純資産の部合計	2,120,691	1,657,438
負債・純資産の部合計	3,119,860	2,366,574

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

1 株主資本

平成22年7月にエムスリー株式会社並びに株式会社ウィザスを割当先とした第三者割当による新株式発行を行いました。これにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ188百万円増加しております。

2 営業利益

下期以降、全体経済の緩やかな回復基調とそれに伴う企業収益の改善などにより、翻訳需要も景気後退前の水準に回復しました。このような状況のもと、当期の連結売上高は、517百万円増加の4,756百万円となり、販売管理費のコントロールが奏功したこともあり、営業利益は42百万円増加の279百万円となりました。

3 当期純利益

円高による為替差損や第三者割当増資による株式発行費用等が発生しましたが、米国子会社をはじめとする連結子会社の収益向上が寄与したことから、34百万円増加の139百万円となりました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは359百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上による収入264百万円、売上債権の増加による支出92百万円によるものであります。

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2010.4.1～2011.3.31	前　期 2009.4.1～2010.3.31
売上高	4,756,866	4,239,171
売上原価	2,701,264	2,301,295
売上総利益	2,055,601	1,937,876
販売費及び一般管理費	1,775,843	1,700,951
2 営業利益	279,758	236,924
営業外収益	1,973	2,234
営業外費用	11,504	130
経常利益	270,227	239,029
特別利益	260	650
特別損失	5,568	37,263
税金等調整前当期純利益	264,919	202,415
法人税、住民税及び事業税	158,588	100,554
法人税等調整額	△ 33,391	△ 3,748
少数株主損益調整前当期純利益	139,722	—
3 当期純利益	139,722	105,608

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ･フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2010.4.1～2011.3.31	前　期 2009.4.1～2010.3.31
4 営業活動による キャッシュ・フロー	359,935	166,577
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 251,674	△ 51,790
財務活動による キャッシュ・フロー	319,201	△ 56,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 365	△ 379
現金及び現金同等物の増加額	427,097	58,070
現金及び現金同等物の期首残高	1,062,186	1,004,115
現金及び現金同等物の期末残高	1,489,283	1,062,186

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書　当期（2010.4.1～2011.3.31）

（単位：千円）

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合　計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
2010年3月31日　残高	399,818	290,198	972,404	1,662,420	△ 1,783	△ 3,198	△ 4,982	1,657,438
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	188,625	188,625		377,250				377,250
剰余金の配当			△ 52,380	△ 52,380				△ 52,380
当期純利益			139,722	139,722				139,722
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					766	△ 2,105	△ 1,338	△ 1,338
連結会計年度中の変動額合計	188,625	188,625	87,342	464,592	766	△ 2,105	△ 1,338	463,253
2011年3月31日　残高	588,443	478,823	1,059,746	2,127,012	△ 1,017	△ 5,304	△ 6,321	2,120,691

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

個別貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2011.3.31現在	前　期 2010.3.31現在
資産の部		
流動資産	2,460,958	1,805,096
固定資産	592,413	512,026
有形固定資産	24,852	39,881
無形固定資産	125,367	144,933
投資その他の資産	442,193	327,210
資産の部合計	3,053,371	2,317,122
負債の部		
流動負債	817,120	540,647
固定負債	137,919	123,804
負債の部合計	955,040	664,452
純資産の部		
株主資本	2,099,348	1,654,453
資本金	588,443	399,818
資本剰余金	478,823	290,198
資本準備金	478,823	290,198
利益剰余金	1,032,082	964,437
利益準備金	14,434	14,434
その他利益剰余金	1,017,647	950,002
評価・換算差額等	△ 1,017	△ 1,783
その他有価証券評価差額金	△ 1,017	△ 1,783
純資産の部合計	2,098,331	1,652,670
負債・純資産の部合計	3,053,371	2,317,122

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	当　期 2010.4.1～2011.3.31	前　期 2009.4.1～2010.3.31
売上高	4,364,622	3,975,420
売上原価	2,502,038	2,170,301
売上総利益	1,862,584	1,805,118
販売費及び一般管理費	1,610,055	1,581,256
営業利益	252,529	223,862
営業外収益	3,184	3,613
営業外費用	8,011	—
経常利益	247,701	227,475
特別利益	133	650
特別損失	5,212	37,263
税引前当期純利益	242,622	190,862
法人税、住民税及び事業税	156,265	98,600
法人税等調整額	△ 33,667	△ 3,083
当期純利益	120,025	95,346

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別株主資本等変動計算書　当期（2010.4.1～2011.3.31）

（単位：千円）

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
2010年3月31日　残高	399,818	290,198	290,198	14,434	950,002	964,437	1,654,453	△ 1,783	△ 1,783	1,652,670
事業年度中の変動額										
新株の発行	188,625	188,625	188,625				377,250			377,250
剰余金の配当					△ 52,380	△ 52,380	△ 52,380			△ 52,380
当期純利益					120,025	120,025	120,025			120,025
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）								766	766	766
事業年度中の変動額合計	188,625	188,625	188,625	—	67,645	67,645	444,895	766	766	445,661
2011年3月31日　残高	588,443	478,823	478,823	14,434	1,017,647	1,032,082	2,099,348	△ 1,017	△ 1,017	2,098,331

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

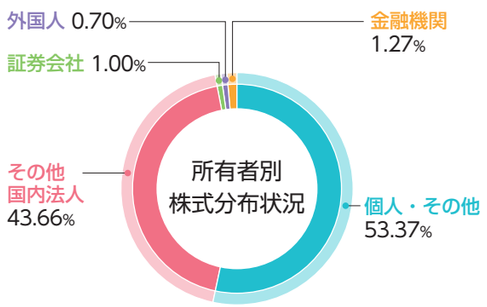
株式の概況 & 会社概要

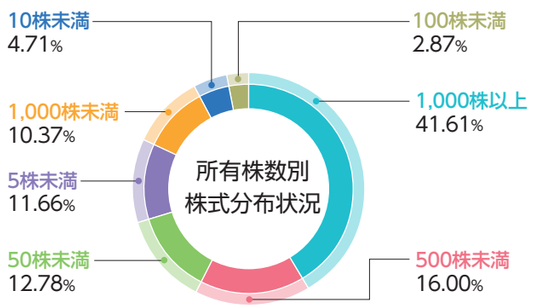
株式の状況（2011.3.31現在）

- ◆ 発行可能株式総数　51,400株
- ◆ 発行済株式総数　16,845株（自己株式はありません）
- ◆ 株主数　1,468名
- ◆ 大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）
株式会社ウィザス	3,560
エムスリー株式会社	3,450
東　郁男	715
池亀秀雄	518
重田康光	513
淺見和宏	430
翻訳センター従業員持株会	335
岩崎泰次	285
角田輝久	270
二宮俊一郎	245

◆ 株式分布状況





会社概要（2011.3.31現在）

- ◆ 商　号　株式会社 翻訳センター
- ◆ 設　立　1986年4月
- ◆ 代表者　東　郁男
- ◆ 本社所在地　大阪府大阪市中央区平野町2丁目5番8号 平野町センチュリービル9F
- ◆ 資本金　5億8,844万3,000円
- ◆ 従業員　225名（連結）
- ◆ 事業内容　翻訳サービス業
- ◆ グループ会社　株式会社国際事務センター / HC Language Solutions, Inc. / 北京東櫻花翻訳有限公司 / 株式会社HCランゲージキャリア / 株式会社外国出願支援サービス

役員

代表取締役社長	東　郁男
取締役	二宮俊一郎
取締役	淺見和宏
取締役	角田輝久
取締役	中本　宏
取締役	楠見賢二
取締役	池亀秀雄
常勤監査役	橘　正宏
監査役	妙中厚雄
監査役	松村信夫